



充実著しい木島選手が堂々の初入賞を果たし、2 年振り 3 回目の代表となった山口尚宏選手も 2 日間とも安定した戦い振りで 2 度目の入賞となった。

### 1 日目は緑豊かな庭園

1 日目の競技は地形的要素の豊かな公園内で行われた。公園と言うよりはむしろ「庭園」という表現が適切かもしれない。自然の地形をそのままに残し、多くの緑に包まれた閑静なトレインで、今年の熱戦はスタートした。



1 日目のトレイン

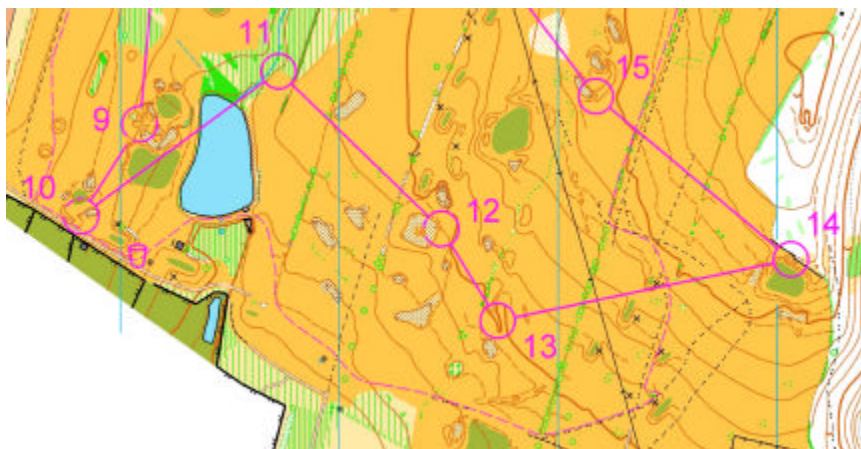
### 2 日目は「ゴルフ場」

2 日目はゴルフ場がトレイン。競技はゴルフ場内のフェアウェイ部分に記されたマークルートに沿って移動する方式がとられた。

ゴルフ場のように見通しの良いトレインでは、世界選手権に適した難易度のコントロールを設置するためにはやはり道からの距離を離さざるを得ない。選手にはそれに対応できる能力が求められた。



表彰式にて花束を授与された山口尚宏選手



2 日目のマップの一部

### 次回はメダルが最低限

今大会の結果は下記の通り。なお入賞は 6 位まで。

#### 【オープン・クラス(58 名)】

1) Anne Straube, GER, 36 points/200 second, 2) Martin Fredholm, SWE, 36p/225s, 3) Jari Turto, FIN, 34p/169s, 6) 山口尚宏, 32p/138s, 13) 山口拓也, 29p/260,5s, 36) 大久保裕介, 24p/177,5s

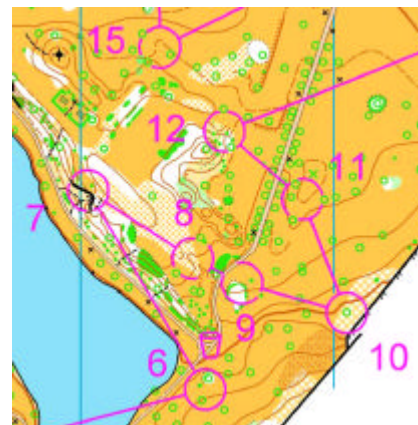
#### 【パラリンピック・クラス(42 名)】

1) Lennart Wahlgren, SWE, 19p/125s, 2) Zdenko Horjan, CRO, 18p/30s, 3) Dave Gittus, GBR, 16p/65s, 5) 木島英登, 15p/107,5s

今年も日本選手は軒並み上位の成績を残したものの、メダル獲得には至らなかった。次回の世界選手権は 2009 年 8 月にオーストリアで WOC と同時開催される。今回の入賞が最低限だったとすれば、来年はメダル獲得が最低限の目標となるだろう。

(藤島由宇)

おわび 本誌 2008 年 8 月号の 14 ページに掲載の Day2 のマップは、E クラスでなく A クラスのものでした。お詫びして訂正いたします。



1 日目のマップの一部